

九大病院だよりは患者さん向けの広報誌です。ご自由にお持ち帰り下さい。

●●●健康づくりを支援する 先進予防医療センターがオープン●●●

高齢化時代の健康づくりを支援するため九州大学病院先進予防医療センターが9月4日にオープンしました。増え続ける生活習慣病などの予防、改善、治療を目的に高度の診療機能と臨床検査機能をもつ大学病院が開設した高度専門の人間ドックで、病院あげてこのセンターをバックアップします。

センターは外来棟の二階で、改装して新しい施設が整備されました。診察室などがずらりと並び、明るい色調の部屋で絵画を飾ったお客さん待合室まで備えるというサービスにも気配りをしています。ドックには標準がんドックなどがんや心臓、脳、女性特有の疾患など5つのコース（内容は2ページで紹介）があり、それぞれの専門医が検査、診断に当たります。特に一般の人間ドックと違って、対象疾患をより先進医療で深く広く検査、診断を実施することにしています。

特徴は①生活習慣病の早期発見、早期治療をめざす②最先端検査機器による高精度の診断③専門医師集団による診断と高精度の検査結果作成④治療が必要な場合は病院の専門医に送り、必要、適正な処置が受けられるようにする。この場合、ドックの検査結果が診療情報として利用される、など病院とドックとの連携を緊密にし検査効果を発揮します。また、検査データは病院の専門医が総合診断し、受診者の皆さん方に最新の画像診断装置などを使ってご理解いただけるように解りやすく説明します。

なお、ドックは完全予約制で、電話かFAXで検診希望日の2週間前までに同センターにお申し込みください。詳細は病院内に置いています「九大病院専門ドックのご案内」のパンフレットをご覧ください。連絡先は九州大学病院先進予防医療センター。

電話 (092) 642-5746、FAX (092) 642-5738



ウォーキングを楽しむ

こんにちは！いいお天気ですね！見知らぬもの同士が声を掛け合う。山歩きやハイキングで、汗をかきながら、互いに笑顔で挨拶する。微笑ましい、ゆとりある光景です。

生活習慣病の予防の基本は、運動療法と食餌療法です。運動療法として勧められるのがウォーキングです。当初は1日5千歩は歩かなければなどと、万歩計をつけて歩き始めますが、義務としてのウォーキングは、あまり面白くありません。しかし、継続は力なりです。続けていると、徐々に体調が良くなります。それまでは義務であったものが、「歩きたい」という自発的意思に変わります。歩くコースは

たかはし しょうすけ
麻酔科生体教授 高橋 成輔

MESSAGE from Syousuke Takahashi



公園や河畔など自然との触れ合いが多いところがお勧めです。「小さい秋」を見つける喜びなど、春、夏、秋、冬それぞれの季節の前触れを知り、盛りの迫りに圧倒され、そして過ぎ去る寂しさを実感することができます。この自然界のリズムと自分の生活リズムが調和するところに、心とからだの健康を取り戻す源があるようです。

この楽しむウォーキングは、立派な特技として自分の生活を支えます。旅行先でも、手軽に自然に親しみ、同じ趣味を持つ人たちとすぐに友達になることができます。

標準がんドック

男女が別コースで、血液検査や画像検査をやり、胃、肺、肝臓、胆嚢、膵臓、腎臓などのがんを早期発見し、男性は前立腺がんを調べる腫瘍マーカーの測定、女性は乳がん検査をします。

●料金は男性が88,000円、女性が100,000円

レディースドック

女性に多い甲状腺疾患や骨粗しょう症の検査、診断。乳がん、子宮がん、卵巣がんの早期発見。とくに子宮がんは専門医による内診と細胞診検査、顕微鏡的な診断をします。

●料金は73,000円。

PETがんドック

がん病巣だけではなく、がんの位置、大きさ、その状態など正確にわかるのがPET-CT検査で、

 専門ドックの
コースと料金

標準がんドックの検査項目に加えて実施します。開始は平成19年1月からです。

●料金は男性が184,000円、女性が196,000円

心臓ドック

心筋梗塞の早期発見と予防を目的に動脈硬化の程度、心臓機能について詳しく検査します。冠動脈の検査、狭心症や心筋梗塞の危険度も安全なMRI装置で調べます。

●料金は72,000円。

脳ドック

脳卒中の早期発見と予防を目的に各種検査をします。動脈硬化の程度、無症候性の脳卒中病変、脳動脈瘤、脳腫瘍など脳疾患の診断をします。

●料金は62,000円。

(先進予防医療センター TEL:092-642-5746)

加齢黄斑変性についてご存知ですか？

加齢黄斑変性（かおいおうはんへんせい）という眼の病気をご存じでしょうか。あまり聞き慣れない病気かもしれませんが、近年高齢者に増えている眼の病気です。この病気が触んでいくのは眼の奥の黄斑^①というところで、脈絡膜新生血管という悪玉の血管が生えてきます。そのため眼の奥の出血や腫れにより（図）視野の中心が歪んでみえたり、視力が低下したりします。両方の眼がこの病気になると文字の読み書きや車の運転、他人の顔の認識ができなくなり、今までの日常生活が送れなくなります。病気が進んだ状態では視力の回復は困難で、眼鏡などでも見え方は改善されません。



現在はレーザー単独による治療や、光線力学的療法という、薬とレーザーを組み合わせた治療法が主流です。しかしこれらは視力を維持するのが目的で、視力を完全に回復させる方法は現在ありません。なぜ悪玉の血管が生えてくるのかはわかっていませんが、より高齢の方や、血圧が高い方、喫煙習慣のある方にこの病気が多いことがわかっています。一度罹ってしまうと厄介なこの病気は予防や早期発見が大事になります。予防には野菜を中心としたバランスの良い食事やサプリメントが有効だと言われています。また早期発見のためには片眼を遮って障子や柱、掛け時計などを定期的に見ることが有効です。ものが歪んで見えたり、見えない部分があるときは早期に眼科を受診しましょう。

注) 黄斑は眼の奥にある網膜という光を感じるフィルムの中心部で、人間は日常生活のほとんどを黄斑から得られる視覚情報に頼っています。

(眼科外来 092-642-5660)

診療科のご紹介

今回は、第一外科をご紹介します。



第一外科の取扱う臓器は肝臓・胆道・膵臓・食道・胃・小腸・大腸・乳腺・甲状腺・呼吸器・移植血管と幅広く、それぞれ専門のグループが最先端の技術を用いて診断と治療にあたっています。癌を含めた肝臓・膵臓・胆道の病気の治療経験は豊富で、内視鏡による胆石症の治療も数多く行っています。王監督が受けられたことで有名になりましたが、胸やお腹を大きく切ることなく癌を治す胸腔鏡・腹腔鏡手術を取り入れ、食道癌の約90%・胃癌の約80%・大腸癌の約50%・肺や縦隔の病気の約60%は鏡視下手術で行っています。そのため術後の患者さんの負担は減り、通常食道癌で術後2週間・胃癌や大腸癌で術後1週間前後で元気に退院されています。乳癌には60%以上に乳房を残し形成する手術と術後腕の腫れない手術を取り入れ、患者さんに喜ばれています。また九州で唯一脳死ドナーからの膵臓移植と腎臓移植を実施しており、重い糖尿病や人工透析から患者さんを解放できています。鏡視下で、頸部に傷をつけずしこりを取り除いたり膵臓の尾側部分を切除する手術は厚生労働省から高度先進医療に認定されています。これからも、皆様に満足される患者さん中心の先端医療を行っていきます。

(第一外科 科長 田中 雅夫 TEL:092-642-5437)

診療科の名称が変わりました

耳鼻咽喉科では従来、耳・鼻・のどの領域の疾患を取り扱う事が知られていますが、腫瘍を中心とした多くの頸部疾患の外科手術を行っております。患者さんに診療内容をわかりやすくするため診療科名を以下のように変更いたしました。

耳鼻咽喉科 → 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

自動精算機について

診療にかかる患者さんの自己負担額はその診療内容によって大きく左右され、外来患者さんは検査等のために、入院患者さんは月締め分のお支払い等のために多額の現金を準備する必要に迫られる事があります。

病室での多額の現金保管は防犯上の大きな問題でもあり、一方診療後の待ち時間の短縮も大きな課題とされてきました。院内の投書箱にはキャッシュカード等によるお支払いの要望が多数寄せられてきました。

このような患者さんへのサービスのために利便性と安全性を考慮し5月1日から自動精算機が導入されました。

お支払いには、バーコードの用紙(請求書等)か診察券でご利用いただけます。また、現金でのお支払いとカードでのお支払いのどちらかが選択できます。ただし、病院からのお知らせのある患者さんは自動精算機がご利用できませんので窓口でのお支払いをお願いしています。自動精算機の利用を好まない患者さんは窓口をご利用いただけます。

現在、外来棟支払い窓口前に3台、新病院の歯科受付に1台、入院受付に1台、24時間カード専用機1台と計6台の自動精算機が稼働しています。

患者サービス課の職員が毎日定期的の時間に自動精算機の横で患者さんのために説明に努めていますので、わからないことは遠慮なくお尋ねください。

(患者サービス課 092-642-5081)



別府先進医療センター 「免疫・血液・代謝内科」



免疫・血液・代謝内科
西村 純二教授

別府先進医療センター「免疫・血液・代謝内科」ではリウマチ性疾患、膠原病、血液疾患と糖尿病、代謝性疾患の診療が三本柱です。

炎症を引き起こすサイトカイン TNF α を標的とする生物学的製剤、抗 TNF α 抗体（インフリキシマブ）と可溶性 TNF α 受容体（エタレルセプト）が登場し、関節リウマチの治療は新しい時代を迎えています。当科でも約10%の関節リウマチ患者さんに生物学的製剤を使用し、優れた効果を発揮しています。しかし罹病期間の長い疾患ですから、リウマチ教室などによる患者教育、リハビリテーションにも力をいれ、患者さんの QOL を高めるように努力しています。当院は温泉プールなどの充実した設備があり、経験豊富な理学療法士、作業療法士によるリハビリは大変好評です。本年6月から療養型病床が併設され、3ヶ月ほどの比較的長期間のリハビリも可能となりました。

血液疾患は白血病、悪性リンパ腫など腫瘍性疾患の疾患が中心です。この領域も造血幹細胞移植、新しい抗がん剤、抗体療法など治療の進歩が著しい分野です。無菌室も完備し、疾患、年齢を考慮した最善の治療を提供しています。

糖尿病を中心とする生活習慣病、高齢者に多い骨粗鬆症などの専門診療も行っています。糖尿病教室の開催や患者友の会（生医研さくら会）での患者さんとの交流を深め、糖尿病の教育、啓蒙に努力をしています。

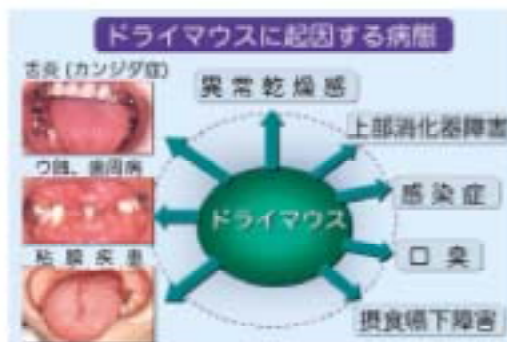
(免疫・血液・代謝内科 西村 純二 TEL0977-27-1640)

「ドライマウス外来」新設しました

この度、ドライマウスの患者さんが増加してきていますので、歯科部門の顎顔面口腔外科内に「ドライマウス外来」という専門外来を新設いたしました。ドライマウスは日本語では口腔乾燥症とも呼ばれ、主に唾液が減少することにより、口の渇き、口の痛み、食べ物が飲み込みにくい、味がよく分からない、むし歯の多発などの症状を特徴とする疾患です。唾液は、口の保湿・潤滑・浄化、食物の消化、味覚、抗菌作用などの多くの役割がありますので、唾液が減少すると口の渇き以外にも様々な障害を生じることになります。原因は、シェーグレン症候群という自己免疫疾患を始めとした唾液腺の障害だけでなく、糖尿病・腎不全・貧血などの全身疾患、うつ・ストレスなどの精神状態、薬の副作用などと多彩です。

従来は顎顔面口腔外科だけで診断や治療を行ってきましたが、歯科治療全般を含めた適切な口腔ケアを行なうことを目的とし、口腔総合診療部などと連携して新設したのが「ドライマウス外来」です。ドライマウスの診断や治療の方法は飛躍的に進歩していますので、口の乾きなどの症状が気になる方はぜひお気軽に受診してください。

顎顔面口腔外科外来 中村誠司 (TEL. 092-642-6445, 6450)



お知らせ

九大病院建物内は全面禁煙となっています。皆様のご協力をお願いします。禁煙のご相談は総合診療部禁煙外来 (TEL: 092-642-5910) まで

看護師募集

看護師を随時募集しています。私達と一緒に働きませんか？お問い合わせは092-642-5024 (総務課人事係) まで。

外来診療日一覧

お尋ねは、下記の診療科等に直接お電話願います。午前中は大変込み合い、電話がかかりにくい場合があります。予めご了承下さい。(市外局番は「092」です)

科名(初診受付)	初診日	再診日	科名(初診受付)	初診日	再診日	診療施設等	電話番号
1 総合診療部 (642-5300)	月～金	月～金	1 第二外科 (642-5479)	月・水・金	月・水・金	救命救急センター	642-5871 642-5872
1 内科(初診) (642-5300)	月～金	月～金	1 整形外科 (642-5504)	月・水・金	金	時間外受付	642-5163
2 内科(再来) (642-5302)	月～金	月～金	2 脳神経外科 (642-5533)	月・水・金	月・水・金	総合外来受付	642-5138
1 臨床遺伝学センター (642-5421)	月～金	金	2 心臓外科 (642-5565)	月・水・木	水・木	入院受付	642-5150
1 先端分子細胞治療科 (642-5996)	月～金	月～金	北棟5 小児外科 (642-5578)	月・水・金	月・水・金	公費申請窓口	642-5153
2 心療内科 (642-5335)	月・木	火・水・金	2 皮膚科 (642-5596)	月・水・金	火・木	地域連携センター	642-5165
2 神経内科 (642-5349)	火・木・金	月・水	2 泌尿器科 (642-5615)	月～金	月・水・金	支払い窓口	642-5169
2 循環器内科 (642-5371)	月～木	月・水	1 精神科神経科 (642-5640)	火・木	月～金	リハビリ受付	642-5862
2 呼吸器科 (642-5388)	月・水・金	月・火・水・金	1 眼科 (642-5660)	月・水・金	月～金	患者様相談室	642-5167
2 産科婦人科 (642-5409)	火・木	月～金	2 耳鼻咽喉科 (642-5681)	火・木	月・水・金	在宅療養支援室	642-5185
2 産産母子センター (642-5900)	火・木	月～金	1 放射線科 (642-5705)	月・水・金	月～金		
北棟5 小児科 (642-5430)	月～金	月～金	2 新幹科産生科 (642-5719)	月・水・金	月・水・金		
1 先端理工学診療部 (642-5993)	月～金	月～金	北棟4・5 歯科部門 (電話は法務科へ)	月～金	月～金		
1 第一外科 (642-5453)	火・木・金	火・木・金					

※ただし、歯科麻酔科の初診日は月・水・金のみ。
※○印の曜日は予約が必要です。

- 休診日
土曜日、日曜日、祝日、
年末年始 (12/29～1/3)
- 受付時間 (窓口)
8:30～11:00
自動再来受付機
8:15～11:00
- 外来玄関開閉時間
7:00～18:00

歯科部門

- 受付時間
初診 8:30～11:00
再診 8:30～15:00
(矯正歯科は、
8:30～16:00)

- 注
- 予約がある場合はこの限りではありません。
 - 再来の方でも、1年以上受診されていない場合には、初診の曜日・時間となる場合がありますので、あらかじめ受診科「外来」にお確かめ願います。

病院にお越しの際は保険証をお忘れなく！

※保険証の提示がない場合には、保険の取扱いができません。

(代表) 092-641-1151

〒812-8582
福岡市東区馬出3丁目1番1号

携帯電話からも九大病院ホームページの診療案内・診療日案内・交通案内が閲覧できます。アドレスは<http://www.hosp.kyushu-u.ac.jp>です。

※外来患者さん用の駐車場を準備していますが、駐車台数が限られていますので出来るだけ公共交通機関をご利用いただきますようご協力願います。

ご意見・ご感想を電子メール (ibskoho@jimu.kyushu-u.ac.jp) または外来棟玄関の「ご意見箱」にどしどしお寄せください。お待ちしております！

福岡市立総合医療センター 2100

福岡市立総合医療センター 2100
〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1番1号
TEL: 092-641-1151